

神奈川県産ブユ科 (Simuliidae) の目録

斎藤 一三・金山 彰宏

Katsumi SAITO & Akihiro KANAYMA:
A List of Blackflies (Simuliidae)
from Kanagawa Prefecture

Abstract: A list of blackflies (Diptera: Simuliidae) of Kanagawa Prefecture is provided covering 22 species. They were placed into 2 genera *Prosimulium* (2 spp.) and *Simulium* (20 spp.). *Prosimulium kiotoense* was newly recorded from the prefecture.

我が国のブユの目録については正垣 (1956), 日本衛生動物学会納研究班 (1974) および高岡, 岡沢 (1988) による報告があり, 4 属62種, 1 亜種が知られている。

神奈川県産のブユに関しては [BENTINCK] (1955) により 5 種が報告されたのが最初である。その後, 鈴木他 (1958) が鎌倉市から 2 種, 大矢他 (1961) が伊勢原市及び厚木市から 7 種, 福島他 (1976) が清川村から 3 種, 金山, 斎藤 (1985) が芦ノ湖地方から 4 種などの報告がある。しかし, これらの報告はいずれも局所における調査報告であり, 全県的な規模の調査報告としては斎藤他 (1987) があるだけである。その後も著者らは更に神奈川県産のブユ相の詳細を知るために機会あるごとに調査を続けている。既に報告済みに, 著者らの未発表のデータをも加え, 神奈川県産のブユ科 (Simuliidae) の目録を作成し, 県下のブユを材料として調査, 研究を進めている人々の参考に供したい。

種名および和名は高岡, 高岡 (1988) に準じた。幼虫は L, 蛹は P, 成虫は A と略記した。

目 録

1. *Prosimulium (Prosimulium) kiotoense*
SHIRAKI, 1935 ミヤコオオブユ
Prosimulium kiotoense SHIRAKI, 1935, Mem.

Fac.Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ., 16: 6.

本種は本邦では幼虫期で越冬する 1 化性の種類と考えられる。京都地方では川幅 2 ~ 5 m の急流中に, 若令幼虫は 11 月中旬に出現し, 冬期の間发育し, 3 月に蛹化する。成虫は人と動物を良く襲うことが知られているが, 動物よりは人を好むようである (UEMOTO, et al. 1973)。

本県では小鮎川の 1 支流の谷太郎川の急流から採集された。

清川村: 2L, 谷太郎川, 8.V.1974, 斎藤。

分布: 本州, 九州。

2. *Prosimulium (Prosimulium) yezoense* SHIRAKI, 1935 キアシオオブユ

Prosimulium yezoense SHIRAKI, 1935, Mem. *Fac.Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ.*, 16: 6.

Prosimulium yezoense: 斎藤他, 1978: 55.

Prosimulium yezoense: 斎藤他, 1987: 91.

本邦では典型的な山地性の種類で, 各地方に分布する。幼虫, 蛹は殆ど山間の川幅の狭い急流に棲息する。北海道では 5 ~ 6 月に平地に産する。人畜を襲う事が知られている。また, 山陰では春から夏にかけて広く山間部の急流から多数発生する。春期に, 特に薄暮頃, 人, 牛, 馬を襲い吸血する (岡本, 1958)。年 1 化性。本県においては県西部高地の急流から 5 月に幼虫と蛹が採集された。

清川村: 2L, 川弟川, 8.V.1974, 高橋; 4L, 1P, 谷太郎川, 8.V.1974, 斎藤; 伊勢原市: 82L, 二重の滝, 25.V.1976, 斎藤。

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州。

3. *Simulium (Nevermannia) aureohirtum*
BRUNETTI, 1911 ヒロシマツノマユブユ

Simulium aureohirtum BRUNETTI, 1911, *Res. Indian Mus.*, 4:287.

Simulium aureohirtum: 斎藤他, 1987:91.

本来, 東洋区系の種類である。その幼虫, 蛹は川幅の狭い流水中に棲息し, 発生数の少ない種である。山陰地方では標高5及び60mの各地点の川幅0.5~1.0mの灌漑用水路中から極めて少数採集された(岡本, 1958)。また, 鹿児島県各地の低地水田地帯の極めて小さい流れから採集されている(高岡他, 1977)。本県では南足柄市地藏堂から採集記録がある。

分布: 本州, 四国, 九州。

4. *Simulium (Nevermannia) konoi* (TAKAHASHI, 1950) コウノホソスネブユ

Nevermannia konoi TAKAHASHI, 1950, 日本昆虫図鑑: 1556.

Simulium konoi: 中村他, 1976:33.

本県では清川村の権現沢から採集記録がある。発生数は少ない。

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州。

5. *Simulium (Nevermannia) mie* OGATA et SASA, 1954 ミエツノマユブユ

Simulium (Eusimulium) mie OGATA et SASA, 1954, *Jpn. J. Exp. Med.*, 24: 327.

Simulium mie: 斎藤他, 1978: 55.

Simulium mie: 金山・斎藤, 1985:33.

Simulium mie: 斎藤他, 1987:91.

Simulium mie: 金田, 1987:109.

発生数の少ない種で高地の小川に発生している。棲息条件は*S. uchidai*とほぼ同様である。鳥取県では大山から元谷にかけて夏から秋に亘って発見出来, *S. uchidai*, *S. sasai*, *S. subcostatum*, *S. rufibasis*, *S. arakawae*, *S. suzukii*などと共棲すると言う。本県においては標高40~660mの低地から高地にかけて採集された。発生数は少ない。

葉山町:9L, 長柄, 1.IX.1976, 斎藤; 箱根町:16L, 大平台, 8.IX.1976, 斎藤; 1P, 俵石, 8.IX.1976, 斎藤; 7P, 唐沢川, 8.IX.1976, 斎藤; 松田町: 2L, 寄沢, 22.X.1976, 斎藤; 津久井町:12L, 2P, 上青根, 29.X.1976, 斎藤; 湯河原町:1L, 泉中沢, 1.X.1976, 斎藤; 小田原市:1L, 白糸川, 1.XI.1976, 斎藤; 横須賀市:2L, 不動滝, 1.X.1977, 斎藤。

分布: 本州, 四国, 九州。

6. *Simulium (Nevermannia) sasai* (RUBTSOV, 1962) ササツノマユブユ

Eusimulium sasai RUBTSOV, 1962, *Die Fli-egen der palaearktischen Region*, Vol.14:311.

Simulium sasai: 金山・斎藤, 1985:33.

未だに幼虫の記載のない種である。石川, 長野県で標高5,000feetの小川, 鳥取県では標高700~800mの高地の源流から採集しているが, 発生数は極めて少ない。

これまで我が国の9県からしか報告のない希少種である。本県では箱根町仙石原(標高660m)の小川から採集記録がある。

分布: 本州, 九州。

7. *Simulium (Nevermannia) subcostatum* (TAKAHASHI, 1950) オタルツノマユブユ

Eusimulium subcostatum TAKAHASHI, 1950, 日本昆虫図鑑: 1555.

Simulium subcostatum: 中村他, 1976:33.

Simulium subcostatum: 福島他, 1976:373.

Simulium subcostatum: 中村他, 1978:209.

Simulium subcostatum: 斎藤他, 1978:55.

Simulium subcostatum: 金山・斎藤, 1985:33.

朝鮮, 日本に分布し山岳地において見出される種である。幼虫, 蛹は小川において四季を通じて棲息が見られる。*S. uchidai*と共棲しているが, 平地には少ないと言う。本県においては山脚地帯から高地にかけて棲息が見られ, 低地には少ない傾向が見られた。

伊勢原市:7L, 1P, 大山, 25.IV.1976, 斎藤; 厚木市: 9L, 1P, 大沢, 21.V.1976, 斎藤; 南足柄市:1L, 大雄町:7.X.1976, 斎藤; 16L, 2P, 明星橋, 7.X.1976, 斎藤; 箱根町:36L, 宮ノ橋, 8.X.1976, 斎藤; 50L, 唐沢川, 8.X.1976, 斎藤; 31L, 12P, 片平, 8.X.1976, 斎藤; 松田町:2L, 寄, 22.X.1976, 斎藤; 津久井町:1L, 上青根, 29.X.1976, 斎藤; 南足柄市:2L, 1P, 関場, 28.VII.1977, 斎藤; 28L, 6P, 地藏堂, 28.VII.1977, 斎藤。

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州。

8. *Simulium (Nevermannia) uchidai*

(TAKAHASHI, 1950) ウチダツノマユブユ

Eusimulium uchidai TAKAHASHI, 1950, 日本昆虫図鑑: 1955.

Simulium latipes: [BENTINCK], 1955:6.

ウチダツノマユブユ: 大矢他, 1961:36.

Simulium uchidai: OGATA et TANAKA, 1975: 109.

Simulium uchidai: 中村他, 1976:33.

Simulium uchidai: 斎藤他, 1978:55.

Simulium uchidai: 金山・斎藤, 1985:33.

Simulium uchidai: 金田, 1987:108.

Simulium uchidai: 斎藤他, 1987:91.

Simulium uchidai: 金田, 1988:14.

Simulium (Eusimulium) uchidai: 小林・野崎, 1990:83.

Simulium (Eusimulium) uchidai: 小林他, 1992:153.

幼虫, 蛹はブユの全ての種類の中で最も川幅の狭い流水に棲息する。灌漑用水路をはじめ, ほんの10cm位の溝あるいは深さ数mmの岩肌をなめる様なかすかな流れにも見られる。平地に多いが高地にもしばしば見られる。分布は非常に広い。周年全ての発育期のものが採集される。本県においても低地から高地にかけて広い範囲から採集された。

伊勢原市:18L, 7P, 三ノ宮, 21.VI.1973, 斎藤; 3L, 三ノ宮, 24.VIII.1973, 斎藤; 9L, 栗原, 28.IX.1973, 斎藤; 清川村:1L, 川弟川, 8.V.1974, 高橋; 横浜市: 5L, 恩田, 14.XI.1974, 高橋; 2L, 2P, 奈良町, 14.XI.1974, 高橋; 14L, 水取沢, 6.II.1975, 斎藤; 厚木市: 6L, 3P, 大沢, 21.V.1976, 斎藤; 箱根町: 23L, 宮ノ下, 8.X.1976, 斎藤; 7L, 15P, 俵石, 8.X.1976, 斎藤; 37L, 2P, 仙石原, 8.X.1976, 斎藤; 36L, 3P, 唐沢川, 8.X.1976, 斎藤; 15L, 11P, 片平, 8.X.1976, 斎藤; 津久井町, 3L, 上青根, 29.X.1976, 斎藤; 1L, 琴立橋, 29.X.1976, 斎藤; 湯河原町, 1L, 前木ノ川上流, 1.XI.1976, 斎藤; 6L, 1P, 泉中沢, 1.XI.1976, 斎藤; 南足柄市, 6L, 2P, 関場, 28.VII.1977, 斎藤; 横須賀市, 3L, 武山, 27.IX.1977, 斎藤; 横須賀市, 3L, 不動滝, 1.X.1977, 斎藤; 三浦市, 6L, 松輪, 12.V.1979, 斎藤; 津久井町, 2L, 大沢, 13.VII.1980, 斎藤; 座間市, 147L, 8P, 栗原, 26.XII.1983, 斎藤; 横浜市, 118L, 5P, 相沢, 31.XII.1983, 斎藤; 川崎市: 6L, 永福寺, 15.I.1984, 斎藤; 川崎市: 1L, 生田緑地内, 5.IX.1992, 佐藤。

分布: 北海道, 本州, 四国, 九州。

9. *Simulium (Gomphostilbia) ogatai* (RUBTSOV, 1962) オガタツノマユブユ

Eusimulium ogatai RUBTSOV, 1962, *Die Fliegen der palaearktischen Region*, Vol.14:305.

Simulium ogatai: 斎藤他, 1987:91.

本種は京都から [BENTINCK] (1955) により, *S. sp. J-13*として報告された種である。京都では小さな

排水溝から, 九州では宮崎と鹿児島県の低地の小流からそれぞれ採集された (高岡他, 1977)。本県では横浜市港南区の小流から採集記録がある。これまで, 9府県からしか報告のない希少種である。

分布: 本州, 四国, 九州。

10. *Simulium (Gomphostilbia) shogakii*

(RUBTSOV, 1962) クジツノマユブユ

Eusimulium shogakii RUBTSOV, 1962, *Die Fliegen der palaearktischen Region*, Vol.14:305.

Simulium shogakii: 斎藤他, 1978:55.

Simulium shogakii: 斎藤他, 1987:91.

本種は [BENTINCK] (1955) により *S. sp. J-4*として報告された種である。正垣 (1956) によると京都市付近には比較的多く見られるが他の地方には少なく, また, 岡本 (1958) によると山陰地方でも発生数は極めて少なく且つ散発的に見出される種であると述べている。

本県においては南足柄市の灌漑用水路より採集された。

南足柄市: 16L, 2P, 関場, 28.VII.1977, 斎藤。

分布: 全国。

11. *Simulium (Wilhelmia) takahasii* (RUBTSOV, 1962) ウマブユ

Wilhelmia takahasii RUBTSOV, 1962, *Die Fliegen der palaearktischen Region*, Vol.14:411.

Simulium salopiense: [BENTINCK], 1955:7. ウマブユ: 大矢他, 1961:36.

幼虫, 蛹は平地性の比較的大きな川幅1~5mの, 緩やかな川に棲息する。暖地に多い。発生量は非常に多く, 牛, 馬, 山羊を激しく襲い吸血し, 人も襲うこともあると言う。著者らの最近の調査によると発生量は極めて少なく, 1950年代の棲息数に比べ激減してるように思われ, 分布は散発的である。減少した原因については現在皆目見当がつかない。

分布: 本州, 四国, 九州。

12. *Simulium (Odagmia) aokii* (TAKAHASHI, 1941) アオキツメトゲブユ

Odagmia aokii TAKAHASHI, 1941, *Insecta Matsumura*, 15:86.

Simulium aokii TAKAHASHI, 1941:緒方, 1954:100.

Simulium aokii: 鈴木他, 1958:10.

アオキツメトゲブユ：大矢他，1961：36.

アオキツメトゲブユ：斎藤他，1973：277.

S. aokii：斎藤他，1978：55.

Simulium aokii：斎藤他，1987：91.

本種は *S. arakawae*, *S. nacojapi* と共に日本において、主に平地で人を襲う代表的な種類である。幼虫、蛹は全国的に広く平地から山脚にかけて分布し、幅1m内外の清流に *S. arakawae*, *S. suzukii* などと混棲し、多数発生して付近の人々を苦しめる。成虫は人を激しく襲う他、牛、馬をも吸血する。成虫の出現は1年中見られるが、特に春から初夏にかけ最盛活動を示す。本県においても平地から山脚にかけ広い範囲に棲息が見られた。

伊勢原市:20L, 6P, 三ノ宮, 21. VI. 1973, 斎藤; 38L, 三ノ宮, 24. VIII. 1973, 斎藤; 11L, 栗原, 28. IX. 1973, 斎藤; 秦野市:185A, 大秦野ゴルフ場内, 3. VI. 1975, 斎藤・大利; 厚木市:17L, 5P, 大沢, 21. V. 1976, 斎藤; 松田町:2L, 2P, 中津川, 22. X. 1976, 斎藤; 小田原市:3P, 白糸川, 1. XI. 1976, 斎藤; 南足柄市:36L, 30P, 関場, 28. VII. 1977, 斎藤; 1L, 地藏堂, 28. VII. 1977, 斎藤; 藤野町:9L, 1P, 栃谷, 23. VIII. 1979, 斎藤; 4L, 落合, 23. VIII. 1979, 斎藤; 1P, 上沢井, 23. VIII. 1979, 斎藤.

分布：北海道，本州，四国，九州。

13. *Simulium (Odagmia) iwataense* (SHIRAKI, 1935) ツメトゲブユ

Odagmia iwataensis SHIRAKI, 1935, *Mem.*

Fac. Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ., 16:40.

幼虫、蛹は低地から山脚地帯にかけやや広い、流れの比較的緩やかな川に発生する。成虫は大型で、牛、馬を好んで吸血するが、多発地帯でも人を襲った例はないと言う。本邦では広島県より以西および四国、九州から記録がない。本種は北方系の種であると思われる。

本県では秦野市の山脚地帯から採集された。

S. iwa：斎藤他，1978：55.

Simulium iwataense：斎藤他，1987：91.

秦野市：1A，大秦野ゴルフ場内，3. VI. 1975：斎藤・大利.

分布：北海道，本州.

14. *Simulium (Odagmia) oitanum* (SHIRAKI, 1935) オオイタツメトゲブユ

Odagmia oitana SHIRAKI, 1935, *Mem. Fac.*

Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ., 16:37.

Simulium oitana：[BENTINCK], 1955:10.

本種は素木得一博士により大分県において採集、記載された種類である。正垣(1954)や[BENTINCK](1955)によると *S. aokii* は本種の synonym であると言う。また、緒方他(1956)が採集した標本を原記載と比較検討した結果全て *S. aokii* の記載と一致したと述べている。本県からは[BENTINCK](1955)の報告のみである。

15. *Simulium (Gnus) bidentatum* (SHIRAKI, 1935) キアシツメトゲブユ

Odagmia bidentata SHIRAKI, 1935, *Mem. Fac.*

Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ., 16:34.

Simulium bidentatum (SHIRAKI)：[BENTINCK], 1955:11.

キアシツメトゲブユ：大矢他，1961：36.

Simulium bidentatum：中村他，1976：33.

Simulium bidentatum：福島他，1976：373.

Simulium bidentatum：中村他，1978：209.

Simulium bidentatum：斎藤他，1987：91.

西日本において多数発生し、幼虫、蛹は低地の小流に多く分布するが、山間地帯でも普通の種類である。九州地方では人畜を良く齧咬し、動物寄生性オンコセルカのフィラリア幼虫の自然感染が確認されている(TAKAOKA, 1989)。成虫は夏から秋にかけて最盛活動期をもつ。本県においては山脚地帯から平地にかかる小川から採集された。

伊勢原市:1L, 三ノ宮, 21. VI. 1973, 斎藤; 厚木市:21L, 4P, 大沢, 21. V. 1976, 斎藤; 松田町:1L, 中津川, 22. X. 1976, 斎藤; 湯河原町:2L, 泉中沢, 1. XI. 1976, 斎藤; 藤野町:4L, 栃谷, 23. VIII. 1979, 斎藤; 72L, 19P, 落合, 23. VIII. 1979, 斎藤; 61L, 2P, 上沢井, 23. VIII. 1979, 斎藤; 津久井町:2L, 2P, 大沢, 13. VII. 1980, 斎藤; 座間市:17L, 栗原, 26. XII. 1983, 斎藤.

分布：本州，四国，九州.

16. *Simulium (Gnus) nacojapi* SMART, 1944 ニッポンヤマブユ

Odagmia japonica SHIRAKI, 1935, *Mem. Fac.*

Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ., 16:45.

ニッポンヤマブユ：大矢他，1961：36.

本種の幼虫、蛹は低地の小川に *S. aokii*, *S. arakawae* 等と混棲している。成虫は黒色、小型のブユで非常に激しく人を襲う。特に関西、北陸地方では大発生して住民を苦しめる種類である。山陰地方では

S. aokii と共に人吸血性を有する代表的な種類であって、夏から秋にかけては本種による被害が最も多く且つ甚だしい。本県においては厚木市及川から採集記録がある。

分布：本州，四国，九州。

17. *Simulium (Simulium) arakawae* MATSUMURA, 1921 ヒメアシマダラブユ

Simulium arakawae MATSUMURA, 1921, 大日本害虫全書(後編) : 85.

Simulium venustum : 正垣, 1954 : 55.

Simulium arakawae MATSUMURA : [BENTINCK], 1955 : 11.

Simulium venustum : 鈴木他, 1958 : 10.

ヒメアシマダラブユ : 大矢他, 1961 : 36.

Simulium arakawae : OGATA et TANAKA, 1975 : 109.

S. ara. : 斎藤他, 1978 : 55.

Simulium arakawae : 斎藤他, 1987 : 91.

本種は、*S. aokii* と共に広く本邦各地に分布し、発生量も多く、人を襲う平地性の普通の種類である。うるさく人に集るが、人以外に牛及び馬も好んで吸血する。成虫の活動は東京では秋に多く、11月に最盛活動を示す。幼虫は平地の小川や灌漑用水路に多く発生するが、山地にもしばしば発生する。本県では伊勢原市の山脚地帯に散発的に発生が見られた。

伊勢原市:2L, 三ノ宮, 21. VI. 1973, 斎藤, 16L, 三ノ宮, 24. VIII. 1973, 斎藤, 12L, 栗原, 28. IX. 1973, 斎藤.

分布：北海道，本州，四国，九州。

18. *Simulium (Simulium) japonicum* MATSUMURA, 1931 アシマダラブユ

Simulium japonicum MATSUMURA, 1931, 日本昆虫図鑑 : 407.

Simulium japonicum : 中村他, 1976 : 33.

Simulium japonicum : 福島他, 1976 : 373.

Simulium japonicum : 中村他, 1978 : 209.

Simulium japonicum: POINAR et SAITO, 1979 : 147.

S. jap. : 斎藤他, 1978 : 55.

Simulium japonicum : 斎藤他, 1987 : 91.

本邦の山地に広く分布する代表的な山地性の種類である。幼虫は黒色で甚だ大型で、溪流中の岩石や植物に多数密集吸着している。北海道や奄美大島では激しく人を襲うと言われているが本州での被害は余り知ら

れていない。山陰地方では山間部に広く分布し、幼虫は春期には比較的低い所でも採集出来る。特に、3月には水量豊富な急流で優位を占めているが、夏期には平地には極めて少なくなり、大山の高い所に多く見られると言う。本県においては県西部の山地に多いが、相模川以東では極めて少ない。

秦野市:161L, 水無川, 29. I. 1973, 斎藤;伊勢原市:23L, 三ノ宮, 21. VI. 1973, 斎藤;9L, 三ノ宮, 24. VIII. 1973, 斎藤;3L, 栗原, 28. IX. 1973, 斎藤;清川村:47L, 8P, 川弟川, 8. V. 1974, 高橋;136L, 11P, 谷太郎川, 8. V. 1974, 斎藤;4L, 1P, 谷太郎川上流, 8. V. 1974, 斎藤;秦野市:1A, 大秦野ゴルフ場内, 3. VI. 1975, 斎藤・大利;厚木市:55L, 不動尻, 21. V. 1976, 斎藤, 31L大沢, 21. V. 1976, 斎藤;山北町:9L, 4P, 西沢堰堤上, 7. IX. 1976, 斎藤;118L, 4P, 悪沢, 7. IX. 1976, 斎藤;14L, 3P, 箱根沢, 7. IX, 1976, 斎藤;84L, 箒沢, 7. IX, 1976, 斎藤;23L, 西沢と東沢の出合下, 7. IX, 1976, 斎藤;165L, 西沢と東沢の出合, 7. IX. 1976, 斎藤;80L, 2P, 笹子沢, 4. X. 1976, 斎藤;109L, 火打橋, 4. X. 1976, 斎藤;南足柄市:22L, 7P, 大雄町, 7. V. 1976, 斎藤;22L, 明星橋, 7. X. 1976, 斎藤;松田町:63L, 1P, 中津川, 22. X. 1976, 斎藤;27L, 12P, 寄, 22. X. 1976, 斎藤;113L, 7P, 杉ノ沢, 22. X. 1976, 斎藤, 40L, 寄沢, 22. X. 1976, 斎藤;津久井町:105L, 6P, 小屋戸沢, 29. X. 1976, 斎藤;86L, 20P, 上青根, 29. X. 1976, 斎藤;116L, 17P, 横山沢, 29. X. 1976, 斎藤;97L, 平丸, 29. X. 1976, 斎藤;144L, 湯口川, 29. X. 1976, 斎藤;86L, 1P, 梶ヶ原, 29. X. 1976, 斎藤;151L, 30P, 荒井沢, 29. X. 1976, 斎藤;32L, 琴立橋, 29. X. 1976, 斎藤;69L, 14P, 西沢橋, 29. X. 1976, 斎藤;湯河原町:1L, 藤木ノ川上流, 1. XI. 1976, 斎藤;7L, 1P, 不動滝, 1. XI. 1976, 斎藤;3L, 千歳川, 1. XI. 1976, 斎藤;3L, 1P, 泉中沢, 1. XI. 1976, 斎藤;小田原市:6L, 3P, 白糸川, 1. XI. 1976, 斎藤;南足柄市:17L, 関場, 28. VII. 1977, 斎藤;横須賀市:1L, 3P, 不動滝, 1. X. 1977, 斎藤;伊勢原市:190L, 二重の滝, 19. VI. 1979, 斎藤;藤野町:1L, 栃谷, 23. VIII. 1979, 斎藤;津久井町:78L, 19P, 大沢, 13. VII. 1980, 斎藤.

分布：北海道，本州，四国，九州。

19. *Simulium (Simulium) kawamurae*

MATSUMURA, 1921 カワムラアシマダラブユ

Simulium kawamurae MATSUMURA, 1921, 大日本害虫図説 : 787.

Simulium kawamurae : 中村他, 1976 : 33.

Simulium kawamurae : 中村他, 1976 : 209.

S. kaw. : 斎藤他, 1978 : 55.

Simulium kawamurae : 斎藤他, 1987 : 91.

発生数の少ない高地性の種類である。幼虫, 蛹は山間の水量豊富な川で最も流れの早い所に棲息する。雌成虫と幼虫は *S. japonicum* に非常に酷似した種類で判別は困難であるが雄成虫と蛹では容易に識別し得る。

本県においては県西部の山地に棲息が見られた。

山北町:7P, 西沢堰堤上, 7. IX. 1976, 斎藤;2P, 箒沢, 7. X. 1976, 斎藤;1P, 西沢と東沢の出合, 7. IX. 1976, 斎藤;2P, 箒子沢, 4. X. 1976, 南足柄市:1P, 大雄町, 7. X. 1976, 斎藤;松田町:6P, 杉ノ沢, 22. X. 1976, 斎藤;湯河原町:1P, 泉中沢, 1. X. 1976, 斎藤;南足柄市:9P, 関場, 28. VII. 1977, 斎藤。

分布 : 本州, 四国, 九州。

20. *Simulium (Simulium) nikkoense* SHIRAKI, 1935 オオアシマダラブユ

Simulium nikkoense SHIRAKI, 1935, *Mem. Fac. Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ.*, 16 : 77.

Simulium nikkoense : 斎藤他, 1987 : 91.

非常に発生数の少ない種類である。幼虫, 蛹は *S. uchidai* と混棲し, 非常に小さな流れから採集される。

本県においては秦野市角ヶ谷戸から採集記録がある。

分布 : 北海道, 本州, 四国, 九州。

21. *Simulium (Simulium) rufibasis* BRUNETTI, 1911 アカクラアシマダラブユ

Simulium rufibasis BRUNETTI, 1911, *Res. Indian Mus.*, 4 : 283.

Simulium rufibasis : 中村他, 1978 : 209.

Simulium rufibasis : 斎藤他, 1978 : 55.

本種の蛹は *S. suzukii* と殆ど区別出来ないが, 成虫では第7腹節腹板に明瞭な2剛毛束を有するので容易に識別し得る。山陰地方においては高地性の種類で幼虫と蛹は山間の比較的水温の低い小川で *S. uchidai*, *S. subcostatum*, *S. mie*, *S. suzukii* などと共棲が認められている。本県においては県西部伊勢原市の山脚地帯から採集された。

伊勢原市 : 5L, 1P, 三ノ宮, 21. VI. 1973.

分布 : 北海道, 本州, 四国, 九州。

22. *Simulium (Simulium) suzukii* RUBTSOV, 1963 スズキアシマダラブユ

Simulium suzukii RUBTSOV, 1963, *Die Fliegen der palaearktischen Region*, Vol. 14 : 525.

クロアシマダラブユ : 大矢他, 1961 : 36.

Simulium suzukii : 中村他, 1976 : 33.

Simulium suzukii : 中村他, 1978 : 209.

S. suz. : 斎藤他, 1978 : 55.

本種は以前 *Simulium (Simulium) tuberosum* LUNDSTROM, 1911, クロアシマダラブユと呼ばれていた種である。蛹は *S. rufibasis* に似て殆ど区別しがたい。成虫では明瞭に識別し得る。幼虫, 蛹は *S. arakawae*, *S. aokii* と混棲しているが, 両種よりやや上流性である。山地に広く分布し, 人吸血性である。徳本 (1953) は金沢地方の水田地帯で人を襲うのは殆ど本種であると言う。しかし, 山陰地方では人を襲う個体数は少ないと言う。本県においては平地より山脚地帯に多い。

伊勢原市:13L, 三ノ宮, 24. VIII. 1973, 斎藤;13L, 栗原, 28. IX. 1973, 斎藤;南足柄市:14L, 8P, 大雄町 : 7. X. 1976, 斎藤;49L, 15P, 明星橋, 7. X. 1976, 斎藤;津久井町:11L, 横山町, 29. X. 1976, 斎藤;湯河原町, 1L, 泉中沢, 1. XI. 1976, 斎藤;南足柄市:1L, 関場, 28. VII. 1977, 藤野町:51L, 5P 栃谷, 23. VIII. 1979, 斎藤;9L, 1P, 上沢井, 23. VIII. 1979, 斎藤;津久井町:2L, 1P, 大沢, 13. VII. 1980, 斎藤。

おわりに

神奈川県からはこれまで, 2属21種のブユの分布が知られていた。今回, ミヤコオオブユ *Prosimulium kiotoense* SHIRAKI, 1935が県下から新記録種として追加され, 本県には2属22種のブユが分布することになる。

謝 辞

本文に記録する神奈川県産ブユ類の標本資料の蒐集に関して大変お世話になった大利昌久博士, 高橋正和博士並びに佐藤英毅博士に対し, また, この度, 神奈川県産ブユ科目録の発表の機会を与えて下さいました神奈川県立博物館の森谷清樹博士に感謝の意を表します。

文 献

- [BENTINCK, W. C.], 1955. *The black flies of Japan and Korea (Diptera: Simuliidae)*. 406 Med. Gen. Lab., U.S.A. Army, 23pp. figs. 33. Tokyo Japan.
- 福島悟・中村譲・斎藤一三・高橋正和, 1976. 日本産ブユ数種の幼虫の消化管より得たケイ藻類. 衛生動物, 27:373-380.
- 金山彰宏・斎藤一三, 1985. 芦ノ湖周辺のブユ. 昆虫と自然, 20:33.
- 金田彰二, 1987. 円海山周辺水域の底生動物相 (第2報). 横浜市公害研究所, 公害研究資料 No. 74, 円海山・港北ニュータウン地区生態調査報告書・第2報, 99-112.
- 中村譲, 1982. ブユ駆除のための基礎的研究. 1. 幼虫の定量採集法の検討と季節消長. 衛生動物, 33:239-246.
- 中村譲・福島悟・高橋正和・斎藤一三, 1976. ブユ幼虫個体群の推定法の検討と幼虫の季節消長. 衛生動物, 7:33.
- 日本衛生動物学会納研究班編, 1974. 日本産ブユ科の種目録 (1974). 衛生動物, 25:191-193.
- 緒方一喜, 1954. アオキツメトゲブユの分布及び習性について (ブユの資料 4). 衛生動物, 5:100-110.
- 緒方一喜・佐々学・鈴木猛, 1956. ブユとその駆除. 衛生害虫叢書 V, 162pp., DDT協会, 東京.
- OGATA, K. and I. TANAKA, 1975. Preliminary survey of the change in insect pests of public health importance with urbanization of Kawasaki City. 日環セ所報, 2:109-113.
- 岡本詢, 1958. 山陰地方における蚋の種類と分布に関する研究. 米子医誌, 9:556-579.
- 大矢直次・福岡栄治・小野住重春・原田文雄・石井襄二・関本一雄・羽端徳豊・松蔭英竜, 1961. ブユの生態調査と駆除. 神奈川県公衆衛生学会誌, 9:36-37.
- POINAR, G. O. JR. and K. SAITO, 1979. *Mesomer-mis japonicus* n.sp. (Mermithidae: Nematoda), a parasite of *Simulium japonicum* (Simuliidae: Diptera). *Jpn. J. Sanit. Zool.*, 30:147-149.
- 斎藤一三・金山彰宏・緒方一喜, 1987. ブユの生態に関する研究. X. 神奈川県における春期の採集結果. 日本応用動物昆虫学会誌, 31:91-95.
- 斎藤一三・高橋正和・中村譲, 1978. 神奈川県のカブツ. 衛生動物, 29:55.
- SHIRAKI, T., 1935. Simuliidae of the Japanese Empire. *Mem. Fac. Sci. Agric. Taihoku Imp. Univ.*, 16:1-90.
- 正垣幸男, 1954. 日本産ブユの普通種 *venustum* type の4種について. 衛生動物, 5:55.
- 正垣幸男, 1956. 日本産ブユ目録. 附新亜属 *Nipponosimulium*. 動物学雑誌, 65:275-280.
- 鈴木猛・緒方一喜・林滋生・田中寛・三浦昭子・遠山輝彦・佐藤金作・佐々学, 1958. DDT製剤によるブユ幼虫の駆除法の研究. 環境衛生, 1:10-15.
- 高橋弘, 1950. 蚋科. 日本昆虫図鑑, pp.1555-1559, 北隆館, 東京.
- 高岡宏行・岡沢孝雄, 1988. 日本産ブユ科 (Simuliidae) 種目録 (改訂). 衛生動物, 39:97-103.
- TAKAOKA, H.・M. BABA, and O. BAIN, 1989. Natural infections of *Simulium bidentatum* (Diptera: Simuliidae) with larvae of *Onchocerca* spp. in relation to a human zoonotic onchocerciasis in Oita, Japan. *Japan J. Trop. Med. Hyg.*, 17:279-284.
- 高岡宏行・J. O., OCHOA・山本進, 1977. 九州におけるブユ科の種類相と分布について. 衛生動物, 28:341-347.
- 徳本洋, 1953. ブユの吸血活動について. 衛生動物, 近畿支部例会抄録, 8:2-3.
- UEMOTO, K. O. ONISHI and T. ORII, 1973. Revision of the Genus *Prosimulium* Roubaud (Diptera: Simuliidae) of Japan. I. *hirtipes*-group in the Subgenus *Prosimulium*. *Jpn. J. Sanit. Zool.*, 24:21-46.
- (斎藤一三: 横浜市立大学医学部寄生虫学教室, 金山彰宏: 横浜市衛生研究所)